

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月16日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【協力企業作業員の電子式線量計(APD)およびガラスバッジ(GB)の一時不携帯について】</p> <p>協力企業作業員が、プロセス主建屋脇の装備交換所でAPDおよびGBを発見し当社社員へ連絡。1～4号機出入管理所にて、作業を終了した別の協力企業作業員がAPDおよびGBがないことに気づき、プロセス主建屋脇の装備交換所へ引き返し、回収した。</p> <p>原因は、装備交換時APDとGBを首から外していたことと、装備交換終了後の相互確認のルールが守れなかったこと。</p> <p>今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月10日
2	<p>【地震発生に伴う所内共通低圧電源系3Bの接地型計器用変圧器の誤動作について】</p> <p>当直員が、地震発生後「所内共通低圧電源系3B異常」警報発生を確認。</p> <p>現場を確認したところ、所内共通低圧電源系3Bの不足電圧継電器の動作を確認したため、不足電圧継電器の入力電圧および接地型計器用変圧器回路2次ヒューズの電圧を測定したところ、電圧が0Vであることを確認。</p> <p>以上のことより、不足電圧を検出する装置(接地型計器用変圧器)が地震により断路位置となったため誤動作したと推定し、接地型計器用変圧器を断路位置から接続位置へ移動したところ、通常状態に復旧した。</p>	GⅢ	2月14日